

2年生理数科 サイエンスプログラム2 (SP2)

課題研究中間発表会 10/29 (木)

2年生理数科にとって初めての課題研究発表会を10月29日に開催し、数学、物理、化学、生物、地球科学、生活科学、スポーツ科学の7分野・計12チームが行っている研究内容について発表しました。

この発表会には、審査員および指導助言者として学校外より6名の方々にお越しいただき、様々な角度から多くの指導助言をいただきました。審査の結果、次の3つの発表が同点で優秀賞に選ばれました。

優秀賞 『火災時における最適な避難経路』

〃 『イシドジョウの生息する石の条件』

〃 『他地域との比較による益田地域のマイクロプラスチック研究』

その他の発表テーマ

『レピュニット数に関する考察』 『バクテリアセルロースを用いた生分解性マスクの作成』

『布の構造による吸水性の違いについて』 『史上最強のストローへの道 測定編』

『過マンガン酸カリウム水溶液に照射する光の色と分解速度の関係』 『五重跳びへの道程』

『スピーカーの高さや障害物の違いによる音の大きさの変化』 『今後断層発生が起こる場所』

『ダイラタンシー現象の性質・力学的研究』

今年度は、来場された保護者の皆様や地域の皆様にもご意見・ご感想をお願いしたところ、多くの方々に快くご記入いただき、激励のメッセージまでいただきました。ありがとうございました。

聴衆として参加した1年生理数科も、はじめは遠慮がちでしたが、後半には鋭い質問を次々と繰り出し、予定時間を超過するほど熱い質疑応答となりました。

2月10日(水)にグラントワで行う「SSH生徒研究発表会」では、理数科12チーム全てがステージ発表を行う予定です。今回いただいたアドバイスを参考に、さらに研究を深めていきます。どうぞご期待ください。

